



図書館チャレンジ企画

我らを知っておるか!? —図書館に様む神と鬼—

3 確かめてみよう!

図書館にあるお面は、本当に「鐘馗」という演目に使われるお面なのか? 島根県立古代出雲歴史博物館企画展の資料『石見神楽—舞を伝える、舞と生きる—』等がある広島県立図書館に行き、調べてみました。

「鐘馗」という演目の写真を見ると、使われているお面が確かに図書館にあるものと酷似していました。また石見神楽の台本を読むと、左のお面は「鐘馗」という名の神であり、角のある右のお面は人を病気にさせる「疫神」(鬼)であると分かりました。



島根県西部石見地方

1 このお面は何だろう!?



いわみ かぐら
「石見神楽面」
石見=島根県西部のこらしい…
神楽は伝統芸能!

図書館には大迫力のお面がありますが、どこにあるか知っていますか? 第二閲覧室に入って左手奥の壁にかけられています。お面の左上には「石見神楽面」の文字が。右の方のお面には角がありますね。さあ、このお面は何の演目のどんな役なのでしょう!?

4 お面の正体はこれだ!

図書館にある2つのお面は、「鐘馗」という演目の、「鐘馗」(左)という神と「疫神」(右)という鬼です。筋書きの一つをご紹介しますと、中国の玄宗皇帝が病に伏しているのを知った鐘馗神が、皇帝の体を侵している疫神を退治するというお話です。石見神楽の演目の中でも、特に花形とされているようです!

「神楽」とは、もともと神の御言葉を聞く儀式のために設けられた、神の降りられる場所=神座かむくらざのなまったものといわれています。島根県は全国有数の神楽が継承されている地域であり、石見神楽だけでも100を超える神楽団があるそうです。

あなたも鐘馗神さまにお願いして、健康を願ってみては??

著者の三村泰臣先生は広島におられた先生です!



請求記号: 386.8/C

2 なにか手がかりは? ~神楽門前湯治村へ~

県内の安芸高田市にある、神楽門前湯治村に行ってきました。ここは、神楽を知るためにはぴったりのスポットです! 村には神楽ドームやかむくら座があり、神楽の上演を見ることができます。毎週上演される神楽は大人気! 神楽資料館の方にお話を伺ってみると、「鐘馗」という演目に使われるお面ではないか、という情報を得ることができました!



かむくら座



湯治村の街並み

万田発酵へ工場見学に行ってきました

因島にある万田発酵へ工場見学に行ってきました。工場には大きな樽がたくさん並べられており、中には材料の野菜や果実の種や皮など全てを使用し、3年3ヵ月以上発酵・熟成させているそうです。発酵食品にはどのようなものがあり、私たちの体にどのような影響があるのかなどが書かれた資料が附属図書館にはありますので、気軽に調べることができます。



万田発酵のシンボル